
『コレ』

無理な体勢で無表情

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『コレ』

【コード】

N6444M

【作者名】

無理な体勢で無表情

【あらすじ】

何と言つか…自分自身よくわからない小説？です。

「何だろう…これ…」

良く通る通学路。二年間近く使用してる道だから当然見慣れた道なのだが…今日は違っていた。

その異変に気付いたのは俺だけなのか。多分そうだろう。誰も『コレ』を見ていない。

「穴…か？何でこんなところに…？つーか有り得ないだろ。」

そう、有り得ない。地面に穴が空いてるだけなら子供のイタズラとかだろう。だけど『コレ』は空中に出来ている。

「……あ、バス…まあ、取り敢えず学校行かねーと。」

時間も時間だ。俺は学校に向かう為バスに乗った。

「（さっきの…何だったんだろ。まあいいや、帰りにまた見てみよう。）」

学校前に到着し、俺はバスを降りた。教室に向かいながらさっきの事を思い出す。

「（穴…何で？つーかどこに繋がってんだ？大体何で皆気付かないんだよ。）」

教室に到着し友達と会話をする。だけど今朝の事は話せない。明ら

かに有り得ない。嘘つき扱いされるのがオチだ。

今朝の事を考えていた為かあつという間に下校時間になった。そして、またあの場所に来た。やっぱりある。

「俺が寝惚けてた訳じゃ無いのか。何なんだよコレ。」

取り敢えず覗き込む。暗い。

「何も見えない…な。んー…ちょっと怖いけど…」

そう言って手を入れてみ

「やっと見えた奴が来たか」

「…………ツ!?!」

辺りを見渡すが周りに人はいない。恐る恐る『コレ』の中を見ている。

「目…?何だよ…これ…」

「ああ…俺と同じ反応だな。俺もそんな事言った。懐かしい懐かしい。」

呆然とする俺。淡々と喋る『コレ』。

「さて、久々に人と話したからな…長くなっちまった。じゃあ、交代な。」

「は？　　うわッ！？……………え？」

一瞬世界が回った気がした。すると目の前に…俺？

『これからはお前は俺な。大丈夫お前の記憶はあるみたいだ。上手くやるよ。』

「おい…意味わかんねえ…行くなよ！行くな！」

不意に何か情報が頭に入る。『コレ』のルール。『コレ』が見えた人間が『コレ』の中に体の一部を入れると交代。

「コレ…って…コレってなんなんだよ！誰か！おい！誰かーッ！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6444m/>

『コレ』

2010年10月10日05時21分発行